

商 況

販賣旬報 第210號 昭和7年10月11日

製鐵所販賣部

當所算定重量算出方法は從來一般に餘りよく知られてをらず従つて兎角誤算誤解が生じ易かつたので改めて以下に其の算出方法を記載する事とした。

製鐵所算定重量算出方法

1、棒鋼及形鋼の重量算出は製品目録所載の單位重量(以下單重と稱す)に據る。

(イ) 1本又は1枚の重量は前項記載の單重に長さを乘じ其の積の數字の上位より4桁目を四捨五入し3桁に止めたるものとす。

但し1本又は1枚の重量1噸以上となるものは吨の小數點以下第1位を四捨五入して4桁とす。

(ロ) 總重量は同1寸法に前項の1本又は1枚の重量に個數を乘じ吨の小數點以下第1位を四捨五入して吨止めとす。

〔例〕 丸鋼 9mm×12' 152p/cs の重量は

1呎當り重量 0.152 kg.

12呎もの1本の重量 $0.152 \times 12 = 1.824 \therefore 1.82\text{kgs.}$

總數量 $1.82 \times 152 = 276.64 \text{ kgs.} \therefore 277\text{kg.}$

山形鋼 9mm×130mm×130mm×9,500mm 12p/cs の重量は

1米單重 17.9 kgs.

1本の重量 $17.9 \times 9.5 = 170.05\text{kgs.} \therefore 170\text{kgs.}$

總重量 $170 \times 12 = 2,040\text{kgs.}$

工形鋼 13×450×175×44' 7p/cs の重量は

1呎單重 35.1 kgs.

1本重量 $35.1 \times 44 = 1,544.4\text{kgs.} \therefore 1,544\text{kgs.}$

總重量 $1,544 \times 7 = 10,808\text{kgs.}$

(ハ) 吋サイズものにして長さ米突ものゝ重量算出は1呎當りの重量に3.231を乘じ其の積の上位より4桁目を四捨五入し3桁となしたる重量を1米當りの單重とす

〔例〕 山形鋼 $\frac{1}{2}'' \times 5'' \times 4'' \times 8,500\text{mm}$ 17p/cs の重量は

1呎の重量 6.559kgs.

1米の重量 $6.559 \times 3.281 = 21.520079 \therefore 21.5\text{kgs.}$

1本の重量 $21.5 \times 8.5 = 182.75 \therefore 183\text{kgs.}$ とす

總重量 $183 \times 17 = 3,111\text{kgs.}$

2、鋼板の重量算定は定尺鋼板(縞鋼板を含む)は製品目録所載の單重に據り不定尺鋼板は別に定むる處に據る。

3、製品目録に規定なき鋼材に對しては特に協定のこと

とす。

輸入解體船鐵材の課税に就て 今迄は輸入解體船は總て保稅に於て實施し其の解體より生じたる鐵材は全部「屑鐵」として無稅で輸入されて居たが此屑鐵は全部が製鋼用として平爐に還元せられず其半分位の數量は屑鐵無稅の目的外の伸鐵材料として使用されて居た。即ち換言すれば鋼片、又は鋼塊の代用となつて居たのであるから當然課稅せらるべきものであるが解體船の伸鐵用鐵材は鋼片でも鋼塊でもない爲め課稅することが出来なかつたが、其内には完全な鋼板若しくは條鋼と認めらるべきものが可なり含有せられて居るので之に對し一般鋼材の條竿、或は鋼板に相當する課稅を爲すことに決定し11月16日以後申告の分に對し課稅せらるることとなつた。

従つて課稅せらるべき數量は船種、新古等種々の事情に依り1率とはならざるも過去の實蹟に徴すれば、概略船舶の總噸數に對し毎噸1圓見當となる見込との事である。一例を以て云へば1萬噸の解體船舶に對しては概ね1萬圓位の課稅を見ることとなるのである。即ち之を逆算して行くと1萬噸の船舶で7,000噸位の鐵材が生ずるとすれば概ね其半數は純然たる平爐用の屑鐵となり、他の半數の3,500噸が伸鐵用に使用せらるゝが其内450噸内外のものに條竿、鋼板等の課稅を見ることとなるのである、之によつて推定すると伸鐵用屑鐵のみが是を負擔することゝすれば1噸に對して約3圓位の課稅となる譯である。

臨時六軌會開催 輕軌條に付ては爲替關係に依り輸入採算相當高値に付く關係上9月13日急遽臨時六軌會招集一般賣値下記の通り改正即時適用する事に決定した

記 一般賣、輕軌條値段

(イ) 10哩未満 1佛疏に付 金 96圓替

(ロ) 10哩以上 " 金 94圓替

8、9月積中型山形の申込と引受 8、9月積中型山形鋼の申込は賣出理事會當時から懸案となつてゐた50mm、60mmの値段未決のまま推移してゐたので、永らく申込の決定を見なかつたが9、10月積理事會の際、ようやく59圓と決定したので9、10月積と同時に締切る事が出来た。

賣出理事會の際にはアウトサイダーの進出に、極度に神經を尖らして、合方も凄く薄ドロであつたが、きつかけ

と同時にすがいきと變り百花瞭亂の舞臺となつたので、今までは1割減の申込にも兎角文句の多かつたものが打つて變つて無條件に、出来る丈け詰め込み度いと云ふ景氣となつたのでアウトサイダーも蜂の頭も無く、目出度々々でシヤギリとなつて近來嘗て見ない6,765 噸と云ふ數量となつたと云はれてゐる。

8、9 月積中型山形鋼申込高

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等邊	2,674	265	3,055	5,994
不等邊	296	10	465	771
計	2,970	275	3,520	6,765

9、10 月積中型山形の申込と引受 9月19日締切つた、9、10 月積中型山形鋼の申込は前月に引續き復々1割増となつて市況の好轉を反映してゐる。

京濱揚は契約引受數量丈けの申込みであつたが伊勢灣及神戸揚が1割増となつたのである。これは販路の關係であると言はれてゐる。

申込引受數量は下の通り。

	京濱揚	伊勢灣揚	阪神揚	計
等邊	1,917.5	263	2,900	5,080.5
不等邊	782.5	—	620	1,402.5
計	2,600	263	3,520	6,483

9 月中三港輸入概況—遂に 5,000 噸弱

1) 此處で一度越し方を振り返つて見ましょう。

年別	昭和4年	同5年	同6年	同7年
1 月	61,083	43,101	9,159	12,599
2 月	61,494	43,517	12,816	12,194
3 月	59,394	41,882	11,503	14,810
4 月	53,681	36,015	9,910	19,520
5 月	59,103	37,477	12,152	19,917
6 月	49,201	19,080	15,507	12,729
7 月	50,453	20,009	21,488	9,812
8 月	46,340	21,634	15,476	8,490
9 月	45,303	15,541	17,685	4,946
計	488,062	278,256	125,696	115,017
10 月	48,010	16,182	19,302	—
11 月	45,124	11,368	15,451	—
12 月	45,887	12,461	15,822	—
總計	627,083	318,267	176,271	—

以上は昭和4年以降本月迄での三港月別輸入數量表です。多言を費す要無く是れを御覽下されば如何に輸入が減少したか一目御理解下さる事と存じます。

今月の輸入數量は上表の中の最も多量であつた昭和4年2月に對しては實に8%にも足りないと言ふ微々たる數量となり、最も僅少であつた前月に對しても53%となつて有爲天變の様をまざまざと展開してをります。

本年9月迄の累計が前年同期累計の92%であつて比較的高率を持してゐるのは本年5月迄は前年よりも23,500 噸の増加で以後遞減してようやく攻守處を代へたからで今月を前年9月に比べれば矢張28%で激減とな

つてをります。

2) 鋼材の供給高を見ますのに(本年7月以降の分が不明なので上半期の數量に據ります)上半期内地生産高合計6年758,316 噸、7年、925,248 噸で前年よりも16万6,968 噸の増産となつてをりますが是れは6年上半期が過少であつたので殊更に本年が爲さんが爲めの増産ではありませんが相對的には増加の初期微動は此處にも既に現はれてをりますので本邦鐵鋼業が永い間の操短より廻つた下半期に入つてからは愈々増産が利いて1ヶ年間の内地供給合計に於ては前年より遙に増加して景氣回復を豫期しても輸入が此の程度に留まつてゐると云ふ事は誠に幸であつたと云ふ事になるのではないのでしょうか。

爲替と關稅との事を考慮する時は決して輸入に色氣を出せる時勢ではありませんが萬一此際輸入に走るやうな事があれば復々供給過剩となつて折角招來した只今の好況も或はうたかたの泡沫のやうに消え去らないとも限りません。

下に掲げた數字から其の當時の因果關係を透視されて今後に善所されん事を望んで止みません。

	昭和4年	同5年	同6年	同7年
上期内地生産	919,264	991,885	758,316	925,284
上期三港輸入	345,956	221,072	71,047	91,769
上期計	1,265,220	1,212,957	829,363	1,017,053
下期内地生産	930,007	798,033	801,051	—
下期三港輸入	278,424	97,195	105,224	—
下期計	1,208,431	895,228	906,275	—
1ヶ年供給計	2,473,651	2,108,185	1,735,638	—

3) 思惑品去つて愈々必需品のみの天下となりました。

棒鋼は相變らず跡を絶ちませんが殆ど全部を特殊物と見て差支へないと云はれてをります。

型鋼は今月も横濱に不等山の4mm×25mm×60mmが只の1 噸入つたばかりで真にサバサバとしてをり此の部門は愈々外注駆逐が達成されたのではあるまいかと思つてもあります。

久しく中板の暴れ廻つてゐた鋼板0.7mm超も今月は鳴を静め僅に29 噸で思惑品は全然無く其の大部分はスウエーデンより非常に高價な物が少量宛入つたので今回に關する限り温情柔和の相貌であるが内外に鬱血の暗流してゐるもの丈けに此の先生何日バイド氏に豹變するかも知れないと見られてをります。鋼板0.7mm以下も前月と同じく影をひそめて極く僅少に留り共販更生と共に將來の繁榮を思はせるものがあります。

鉄力も前月より1,000 吨減少して昭和5年 1月の1,726 吨に次ぐ少量となり本年4、5月頃の無茶苦茶に入つて来た頃から見れば約20%となりました。最も輸入の危険が多分にある鉄力板が而も需要期の先月、今月と引續いで激減を来しつつあると云ふ事は如何に輸入が困難となつたかを物語るものではありませんまいか、其の内容を窺へば特殊鐵用が最も多く約半数を占め次でオイルサイズとなつてをります。W、W、も依然として多く而も正規の寸法ものが大部分であるのには一寸考へさせられます。日本の市場に此 W、W が盛んに侵入して居ると思ふと「外國物が安く手に入る」と云ふ言葉もお値段と品物の相談で絶對的にはオイソレと受け入れられないのではないのでしょうか。尤も普通の製品は御多聞に洩れず大變高い値段につく事は勿論であると云はれてますが。

シートバイリングは復々大阪に750 吨輸入されましたラルゼンとラツカワナーの2種で大阪地下鐵及市役所向ではないかと見られてをります。此の數量は横濱の鉄力に次で1港1種の輸入數量としては多量なので前月も申し上げた通り實需特殊品が輸入の重要な地位を占むるに至つた状態愈々顯著と云ふ事が出来るのではないのでしょうか。

鋼管は昭和4年以來の統計に依りますと本月が最少數量となりました。此の傾向は輸入困難の時流が然らしめたのでしようが營業者の努力も亦興つて力があると見られてをります。折角此處まで誘導した鋼管です、今後は一層の努力を願つて止みません。

『其の他』465 吨の中では特殊鋼が斷然多く270 吨がそれであり、次で横濱に珍らしく電氣鐵板150 吨と云ふ可成の數量が入つたので此の2種で『其の他』の大部分を占めてをります。特殊鋼の内では何と云つても丸鋼が多く約200 吨が丸鋼となつてをります。

(昭和7年9月中三港鋼材輸入數量表参照)

ブラツセル齋藤囑託通信

10月1日 入電 市場堅調値段變らず。

10月8日 入電 市場平穩ながら先行尙好調を期待さる。相場下の通り。

棒 鋼 大型山形 中小型山形 工形(B.S.)
2-9-0 2-8-0 2-9-6 :-3-3

鋼 板 シートバー ビレット
($\frac{3}{16}$ ") (assorted) (4")
3-0-0 2-0-0 1-18-6

9月9日 發信 市況は愈々本調子と相成一般財界の好人氣と共に各方面への輸出向商談も進められかなりの數量の取引ありたる模様御座候

只英國向半製品のみは渉々しき商談なき由に候

相場は大體手堅く保合ひ居り物により6片乃至1志高と相成候

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-7-6	fr. 445
Angles (")	2-6-6	445
Joist (N. S.)	2-1-0	420
" (B. S.)	2-2-6	430
Hoops (base)	3-0-0	650
Wire Rod	4-10-0	825
Plates ($\frac{3}{16}$ " or 5mm)	2-15-0	520
Blooms (4")	1-17-6	340
Billettes (4")	1-18-0	350
Sheet bars (assorted)	1-19-0	360

9月16日發信 市況の引續き好況を呈し取引高もかなりの數量に上り値段はデリ高を傳え全く in saller's favor の有様に候今週の相場下の通り。

	Export	Inland
Bars (base)	£ 1-8-6	fr. 455
Angles (")	2-7-6	455
Joist N. S.	2-1-6	420
" B. S.	2-3-6	430
Hoops (base)	3-0-0	—
Wire Rod	4-10-0	—
Blooms (4")	1-17-6	345
Billettes (4")	1-18-0	370
Sheetbars (assort)	1-19-0	380
Plates (5mm or $\frac{3}{16}$ ")	2-15-0	550

東西市況一騰勢不止 諺にある通り「夢なら夢で醒めずあれ」と云ふのは今の鐵屋さんの境地である。昭和4年2月のバーベス102圓の當所先物値段を最高峯として丸々3年7箇月の棒下げに遇つて四苦八苦の間を彷徨して居たものが8月26、7日を轉機として正に憂曇華に花咲いだ様に吨に2、30圓も利が乗つたのだから聊か宇頂天になるも無理もあるまい。たつた1箇半月の間に夜が晝に變つた様に斯くも鮮かに變轉したことも恐らく未曾有であらう。

今旬も月央ではあり盟廻しも一順濟んでブローカーも大部暇になつて一呼吸ついたと云はれるが値段を並べて見ると一として下つたものは無く不相變デリ高を續けて居る。

こうなると問屋は問屋で今迄邪魔になつた在庫は1吨でも増したい氣持が働くしメーカーは一時に殺到した老大な注文と相當の實需を抱へた上特殊の需要も手傳つて益々満腹となると云ふ状態で、どちらも國際聯盟の成行を横目で睨みながら先へ先へと引き摺られて居る。それに海外が一向崩れる模様もなく寧ろ昂騰して居るのでこれも強氣の材料に數へられて居る。

扱て此落ち行く先は何處へ行くやら今の處誰れも一向見當が付かないと云はれて居る。

東京市況

丸 鋼 6mm一寸賣れ止まりとなり西よりの注入もあ

つて頭打ちの感があるが別項 伸鐵材料高により先行は未だ見捨てられず、ベース物に就ては事態悪化の7月頃は色々取沙汰されて悲觀的となつて居たが、其後環境の底力ある硬化振りに漸く目覺めて丸鋼引受組合も7月の54圓を最低として8月29日に55圓と初めて値上げを見、9月に入つてからは2日に58圓、8日に臺變りとなつて62圓、16日に65圓、30日に68圓と1箇月間に4回の値上りを見せ、10月になつて7日には遂に再び躍進して愈々70圓となつた。然もこうなつては組合員の拔賣りもなく、2、3日で値上げ値段を改めたい心持ちも動くほどと云はれて先行も期待を繋がれて居る9mmも割合に手持薄で睨り中丸以上は他の分分野物に比し今迄安過ぎた感があるので最近騰勢頗る急と云はれて居る。然し50mmか49mmか知らぬが日頃日本鋼管物と稱するものが現在ロール中のもので76圓位で伊藤信廣商店の手で市中に持ち廻られて居ると云ふ噂もあるので50mmや65mmは一寸厭氣があるとも云はれて居る。

角、平鋼 何時も丸鋼の蔭に隠れて、居るか居らぬか分らぬ様な角、平はこうあたりが騒々しいと猶更忘れ勝ちとなり今でも歩み方は至つて鈍いと見られて居るだけ先を楽しみにして居る筋もある。

型鋼 中型等邊は悪い時には、多過ぎるのアウトサイダーだのと沈滞して居たが周圍に引き摺られて盆槍しても居られないと見え今句は急に面目を改めた様に強腰となつた。大型物は最近實需で問屋向に適して居る100噸乃至500噸位のもので大部現はれた様で一寸數へた處でも霞ヶ浦、館山、横須賀及平塚海軍工廠、吳など云ふものや、京城放送局、東京電氣などを筆頭に岩手縣、長野縣などの地方筋から100噸200噸の引合があるそうである。然し此位のもは毎年の需要期には出ては居たが周圍の状態がこんなである爲め今年は特に多く出る様に感ずるのかも知れない、兎に角この様な事が材料となつて溝形では8×80×230と8×90×230が例外的に9圓50錢の外は全部10圓以上で其大部が11、12圓を唱へられて居る盛況である、又あれほど厄介物視されて居た工形も遂に芽を吹き出してこれ亦全部10圓以上の成行となつた。

鋼板 空恐ろしきは中板である。何時も「此邊だろ」と云ひ勿ら遂に此處まで来てしまつた。1.6×5×10の25圓などこれこそ昔話しの種になるものであろう。

2.3×3×6は相當在庫があるので伸びないが其他好調を續け、3.2は何か考へる處があると見え何處かで漁つて居る形跡があつて睨り、4.5は10圓7、80錢を傳へられて居る。6.0一躍11圓近い相場を現はし9.0以上も10

圓臺に迫ると云ふ活況を呈して居る、總じて鋼板は厚い物に火の手が移つた様に見られて居る。

大阪市況

丸鋼 昨今の鋼材界を概言すれば實際行過ぎた觀があるやうである。これがため一部鋼材に對して各關係業者も「無人の境に行くが如き鐵材の騰勢を如何にして阻止すべきや」の問題を討議しつゝあるやうであるが、茲2、3箇月以前の所謂「如何にして鐵の相場の低落を防ぐべきや」を中心に對策を講じつゝあつた時代とは全く雲泥の差がある。従つて市場雀は先行に對して各種の豫言放送するものがあるが此際結局は「石橋を叩いて渡る」式の方が却つて勝利を得るのではあるまいか。

細丸5mmは市中極端なる品掠れにて賣行も良好であるところから相場は13圓90錢翫みを唱へられてゐる。6mmはストックは普通なるも伸鐵方面も強氣にて且つ諸種の事情から目下7圓90錢カツチリに取引されてゐる9mmは順次手當がある關係から相場は茲許一服状態にある、ベース物はメーカー並に各問屋先高氣構へに相場はジリ高歩調を辿り就中12mmは荷動き良好にて相場は別表の如く6圓90錢カツチリである。中丸はストック漸減の態にて氣配は引續き強含み。太丸變らず。

秋風の下に豫言者叫ぶなり

角、平鋼 6mm、8mm角等は民間メーカーの賣惜みにて市中相場は高い。15mm角は賣行旺盛にて先句來8圓方暴騰を演じた模様である。平鋼3mmは品薄にて且つ民間メーカーの値上げ發表と同時に市中相場は一齊高示すに至つた。ベース物は7圓20錢見當を唱へられ5×75は品薄にて7圓30錢カツチリに取引されてゐる。

型鋼 伸鐵屋も昨今は材料高に加へて他鋼材の製作に多忙を極めてゐるので小形アングルの製作を中止してをり且つ當所積遅れにて市中品拂底と云はれ相場は騰勢を辿りつゝあり従つて安値品は全部一掃された。3×208圓50錢、3×408圓、5×407圓70錢である。中形アングルは市中品皆無にて相場は益々高く東京の安値物も弗々入荷あるとの事である。大型アングルは相變らず當所よりの荷廻り不順調なるため相場は11圓とも云ふし又12圓とも唱へられ法外に高い。溝形鋼6×65×125は市中品切れにて相場も別表の如く13圓と目立つてゐる。5×50×100は當所積出案内に相場は頭打ちとなつた。工形鋼75×150は順次手當あり従つて氣配は弱都合である。

鋼板 1.6×3×6は市中極端なる品拂底にて相場はぐんぐん昇つてゐたが各關係業者が昨今自重して來たゆめ茲許やゝ落付を見せてゐる。5×10は相變らず天井知ら

ずの有様で相場は 20 圓見當を唱へられてゐる。6mm は市中在庫漸減の態にて 4×8、5×10 等は目立つて高いやうである、12mm、16mm は市中品切れで氣配は強保合である。

線材釘、バーブドワイヤー等に對する海外殊に滿洲よりの注文一時に殺到せしめたと昨今神戸製鋼所の積遅れのため市中品皆無にて茲許相場は底堅い。

鐵力板 總じて行きすぎの觀あり。100 封度ものは思惑買なきため頃來落付きを見せてゐるが 170 封度ものは市中 1、2 の策動屋のため相場は正に跳ね上つたがこの状態が續けば遂に外注を誘致する恐れもあり且つ來るべき反動も恐ろしいとあつて一流問屋筋には昨今餘程自重した態度が視られるが誠に喜ばしい。

販賣旬報 第 211 號 昭和 7 年 10 月 21 日
製鐵所販賣部

不眞面目な 12 月積先物の申込—申込 4 萬 5,000 吨

1) 別表申込數量を見て心あるものは恐らく甚だしい不愉快の感を懷くであろう。去年 12 月の所謂犬養景氣の際には驚異的の老大な數量と云はれながらも申込は 2 萬吨足らずであつた。然も其結果はどうであつたか。

如何に當時と事情が異なるとは云ひながら 4 萬吨を越ゆる申込とは何事であろう。不謹慎も甚だしいものではあるまいか。4 萬 5,000 吨と云へば大型として半年近い消費數量である、何の成算あつて此の申込か其眞意の捕捉に苦しむものである。

2) 人あり、今日の市場の狂奔は當所の引受の調節に原因するもので實需家の困苦を思はざるも甚だしいと、成程 10 月渡以後に於て相當の調節はしたが、其實質的影響は未だ何等市場には現はれて居らないのである。今日の狂騰の原因を探るには數箇月前に遡らなければならぬ。即ち 6 月以降 8 月渡迄の先物の引受數量を一瞥すれば今日の市場の状態が無理からぬ事は一目瞭然ではあるまいか、其當時當所が其數量の調節をして居たならば今日の状態に對する責任は當然負はなければならぬが當時申込全部を引受けて居たではないか。

10 月渡以降の調節の影響は恐らく 12 月以後に於て現はれて來るものと思ふ。

3) 如何に需要が勃發したとは云へ 7 月渡に 1,700 吨の申込しか無かつた市場が 10、11 月渡に將して如何程の消化力を養ひ得たらうか。

加之 5 月積より 8 月積までには新作等に目星しい需要は全然跡を絶つて居たものが 9 月渡以後、12 月渡迄月々 4,000 吨内外づゝ引受けて居る。此内には實需家や其他の思惑として市場に影を映すものも可なりある筈である。

結局 10 月渡 11 月渡の 2 箇月分で 2 萬吨内外の數量は市場に出るものと思ふ。之れを思ひ彼を思へば 12 月渡など餘程慎重の態度を以て臨まなければ再び本年初頭のあの見苦しい状態に陥ると云ふことは火を見るよりも明かである。

猶坊間の噂を眞とすれば此一時的狂相場を目指して外注に走つたと云ふことである。將して然らばそれは丁度不需期の最中たる暮から正月に掛けて入荷すると云ふことを考へれば猶更である。

12、1 月積先物申込高

品名	揚地	東京	大阪	名古屋	其他	合計
角 平 等 不 溝 工	鋼	—	—	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—
	山形	4,545	11,834	660	13	17,052
	山形	5,060	10,573	260	—	15,893
	形	3,888	8,183	180	—	12,251
合計	13,493	30,590	1,100	13	45,196	

11、12 月積先物引受高

品名	工場別	1、2 小形	3 小形	1中	2中	1大	2、3 大	4 型	合計
角 平 等 不 溝 工	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
	鋼	—	—	—	—	—	—	—	—
	山形	—	—	—	—	—	1,436	—	1,436
	山形	—	—	140	135	—	743	5	1,023
	形	—	—	—	636	948	459	453	2,496
合計	—	—	140	771	948	3,989	656	6,504	

兎にも角にも近來の鐵鋼界は聊か常軌を逸して不眞面目の感が深い。如何に奔騰に盲目となつたとは云ひながら、今少し先行に對して定見を持つ必要があると共に眞剣に考ふる事が自他共に活路を見出す唯一の方法と感ずるのである。

猶引受數量は未決定であるから次回の旬報に掲記することとした。

12、1 月積先物協議會—値上げ

月日場所 10 月 10 日 製鐵所東京出張所
出席者 製鐵、四社及東西問屋
議事 12、1 月積先物賣出に關する件

C. I. F. は前月の際の様な昂騰は見られなかつたが若干は上つた、然し之は爲替關係で相殺されて河岸着値段は概して前月と變らない。

買手希望として申出でたのは、今迄連月相當値上げした結果可なり外注値段と接近したる故是以上は自重して工形、溝形耗物は 1 圓、其他 2 圓上げ程度に留められたし又此際輸入の懸念と云ふことなるも問屋側としては現在及將來共絶対に輸入に食指は動かすことなく本年中に輸入せらるゝものは恐らく「クリスマス、カード」のみと思考せらるゝと言ふことであつた。

12、1月積先物協議會

品 種	區 分	河岸着値段		希望	決定	備考
		入電 沖着	(爲替 $23\frac{1}{8}$ — $\frac{1}{8}$) $\frac{1}{8}$ — $\frac{1}{8}$)			
角鋼	ベース	\$ 15.10	¥ 89.44	80.00	81.00	3圓上げ
平鋼(本所分野)		15.10	89.44	80.00	81.00	"
大型山形鋼		£ 4-7-0	89.29	80.00	81.00	"
工形鋼		\$ 14.00	84.86	78.00	79.00	1圓"
溝形鋼(吋寸法)	5-5-0		102.26	92.00	93.00	3圓"
"(耗寸法)	14.25		85.90	78.00	79.00	1圓"
丸鋼	ベース	£ 15.10	89.44			
"	9mm		16.25			95.70
中小型山形鋼		15.10	89.44			
鋼板	6mm以上		17.55			101.23
"	4.5mm		17.55			101.23
"	3.2mm		18.15			103.79
"	2.3mm		19.70			117.22
"	1.6mm		20.50			120.63
線材	B.W.G.No.5	25.50	132.07			
黒薄鋼板	£11-7-6		216.26			
鋇力板	170lbs	1-13-0	26.60			
"	100lbs	0-18-1	14.62			

當所としても買手側の云ふ自重の希望も相當根據あること、は考へらるゝも、一方市中値段と現物新作の開き及外注との値鞘を考慮すれば、4、5圓程度の値上げを至當の様に考ふるも買手側の希望を調節して希望値段の1圓上げに決定した。猶數量の統制に就ては買手側の輸入の意志なしとの保證ありたるを以て其言を信用し之に努むることゝすべしと決定を見た。

三 S 會

月日場所 10月12日 製鐵所東京出張所
出席者 製鐵所、三井、三菱、日立、高島屋
議事 1) 12月積硅素鋼板賣出値段に關する件
海外コストは不變であるが爲替が軟弱となつたので河岸着値段は復々前回よりT級 35圓B級 27圓乃至23圓方の暴騰となつたので必然建値は訂正される事となつて本品も亦他鋼材同様論議の結果別項の通り太幅の値上げを見る事となつた。議事内容は次の通りである。

先づ三S會より、本品は他鋼材と異り市場一般向の物ではなく製造家の需要に俟たねばならないがその製品は現在も尙ほ最も安い時の相場で取引されてゐるので硅素鋼板の昂騰は必ずしも歡迎されず或は買氣を誘はずして、三S會としては「◎品以外は取扱はず」と云ふ旗幟を掲げてゐるとは云へ、安値獨逸品が潜行し、スウェーデンが賣込運動中の現今、兎角安値物に越き度があるので彼是考慮してT級 20圓、B、D、級 15圓上げに留められ度しとの希望が述べられたが、製鐵所の意見としては、本品はその特殊性に鑑み從來外注との値鞘に比し小刻に前進してゐるが、材料及生産費が騰貴し、爲替の變動に依る危険率はむしろ僅少と見るが妥當であると云はれてゐる折柄前回來の約束通り今月相當の値上げを敢行する

は當然であり且つ當分その程度の値傾を維持するは却つて便宜が多いと思はれるし、尙ほ安値外國品に對しては果して其の脅威が示現せられるや否や進んで其の實否及程度を試練するは本品の發展過程に於ける自己反省の一法でもあるので今回はT級 40圓上げB、D級 30圓上げと致し度しとの事であつたが販路の特殊性と製造家の立場を併せ慮つて相方歩みより結局T級30圓其他 25圓上げの次の値段に決定した。

12月積硅素鋼板決定値段

(イ) 電動氣用硅素鋼板 B 1級

函入のもの 1 噸に付 金 275 圓

裸バンド 1 噸に付 金 265 圓

但裸散積は以上賣價の金 1圓也引のこと

(ロ) 電動機用硅素鋼板 C 1級

函入のもの 1 噸に付 金 295 圓

(ハ) 電動機用硅素鋼板 D 1級

函入のもの 1 噸に付 金 315 圓

(ニ) 變壓器用硅素鋼板 T 1級

函入のもの 1 噸に付 金 380 圓

(ホ) 2級品 2割以内混入差支なし

2級品の賣價は各々1級品賣價の金30圓引のこと

(ヘ) 硅素鋼板厚物は丁級品は金15圓引其他のものは各種共金10圓引のこと

2、締切日 10月15日

3、其他 從來三S會は隔月に開催し2箇月分の賣價同時に決定の處、今月より三S會を毎月開催し賣價も毎月發表のこと。

次回の三S會は來月上旬開催の豫定。 以上

LATEST CURRENT PRICES OF ELECTRICAL STEEL SHEETS

	0.014" (0.35mm) × 3' × 6'		
	English (Ex. $\frac{1}{16}$)	Special	German (Ex. \$ 23. $\frac{5}{8}$)
	Stalloy (T)	Lohys (B)	Bismarkhutte (B)
Cif. or C. & f	£27-11-6	£21-12-6	\$ 60.00
Yokohama Exchange	¥ 402.62	¥ 315.74	¥ 253.97
Marine Ins.	—	—	7% 1.78
Draft Interest 1.3%	5.23	4.10	3.30
Import duty	6.77	6.77	6.77
Landing charges	1.10	1.10	1.10
per long ton	¥ 415.72	327.71	¥ 266.92
per 1,000 kgs.	¥ 409.17	322.55	¥ 262.72

11、12月積鋇力板協議會一值上げ

月日場所 10月13日 製鐵所東京出張所

出席者 製鐵、四社及問屋

議事 11、12月積賣出に關する件

1) 値段 標準たるべき外注値段は前月の如く昂騰氣勢は見られざるも猶若干の高値を示し爲替の4ポイント高を相殺して僅少なる値上りとなり。市中は成行は可なりの高値を吹きをるも特に大阪方面は荷動き鈍く爲に氣配としては弱含みの處もあり従つて希望値段は大阪170封度24圓50錢、100封度13圓50錢となりたり。然し入電其他四圍の狀態を研究の結果今回は結着値段として170封度25圓、100封度13圓80錢を希望するとの事にて製鐵所も之に同意し、何時も決定に手間取る鉄力協議會初つて以來珍らしくも賣手買手共1回の値段にて意見の一致を見たと云ふ素晴らしい現象を見せた。

猶買手希望として第1は2級品の2%引を3%とする件があつたが之れは來月に協議を譲ることとして其儘として第2は今月の値段は買手として1杯の處積遅れの無い様願度しとの事であつた。

決定値段

100封度	13圓80錢 (80錢上げ)
170封度	25圓 (1圓50錢上げ)

2) 數量 數量は外注を最小限度に止めしむる意味より成るべく多量賣出しの希望もあり前月通り800噸引受に決定し、猶月を追ふて漸次増加せしむることとした。其他の條件は前月通りとして直ちに締切りを行つた。

外注値段

	(100 lbs)	(170 lbs)
C. I. F.	£ 0-18-1	£ 1-13-0
Ex. ¼-¾	¥ 13.20	¥ 24.09
Int. 1.3%	.17	.31
Duty.	.72	1.22
Charges	.08	.15
	¥ 14.17	¥ 25.77

11、12月積鉄力板の引受 800噸の賣出に對し申込を取るのもあまりに形式に流れるので直ちにその儘引受數量の割當を次記の通りとして發表した。

11、12月積鉄力板の引受數量表

店別	區別	引受數量		合計	備考
		100lbs	170lbs		
三井	井	69	161	230	條件従前通り
三井	菱	57	133	190	
岩井	井	57	133	190	
安宅	宅	57	133	190	
計		240	560	800	

12、1月積中板共販賣出理事會—限月延長

月日場所 10月10日 製鐵所東京出張所

出席者 東海、製鐵及四社

議事 12、月1月積中板賣出に關する件

外注は前項の様に復も昂騰し、市中も狂奔の道程を辿

つて居るので賣出値段も相當の値上りを見、次の通り決定した。

猶現在迄相當數量の積遅れがあつて之れが引き續き入荷するので之による市場の影響を考慮し又之が整理の意味を加へて限月を1箇月延長して今回は12、1月積を賣出することとした。

12、1月積決定値段

1.6mm 110圓 2.3" 108圓 3.2" 95圓 4.5" 92圓

Dec/Jan Shipment 10th. Oct. 1932

1.6mm	\$ 20.50	¥ 118.77
2.3"	19.70	115.48
3.2"	18.15	102.15
4.5"	17.55	99.66

Ex. rate \$ 23.5%

10、11、12月積中型山形共販賣出理事會—8圓上げ

月日場所 10月11日 東京丸之内會館

出席者 鋼管、東海、製鐵及定期團

議事 1) 組合存續期間繼續に關する件

10月1日より8年3月31日迄6ヶ月間當共販組合を繼續存置の事に決議す。

2) 10、11月積賣出値段に關する件

鋼材界華かなる10月11日に賣出された事とて荒く8圓上げと決定した。蓋し時の勢で來るべき處へ來たのであらう。先づ次の通り定期團の希望が述べられた。市場目下の値上りは製鐵所製品積遅れに因る大阪方面極度の品掠れが東京物の流入となり従つて東西共に品薄となつた事に起因する不自然なる昂騰で、順調なる入荷を見れば忽ち頭打ちとなる性質の市況である一方、遅くも11月には中型山形全寸法に涉る神戸製鋼品の賣出しも既定の事實と云はれてをり而も定期團としてアウトサイダー製品の不買を宣言して居る事とて勢ひ直接實需家に賣込むものと思はれるので其の對策上からも將復丸鋼との値開と云ふ見地からも餘り飛び離れた値上げも如何かと思はれるが四圍の狀態は相當の値上げを當然とするものがあるので充分奮發する事とした。

即ち5圓上げの7圓1本に決定せられ度しとの事であつた。是れに對し共販としてはアウトサイダーに對しては充分善處するし、丸鋼との値開きは1週1度と月1回の建値との相異があるので現今の如く騰勢急なる時は今日の値鞘必ずしも明日のそれを示すとは思はれないし且つ生産費の昂騰と外注との値鞘を考慮する時は10圓程度の値上げと云ひ度い處であるが定期團の希望をも入れて等邊73圓不等邊74圓と致し度しとの事であつた。

斯くて論議が重ねられた結果賣出値段を積月當月に決定することと、従つて寸法書呈出の遅延が積遅れの原因

なるに依りデリバーの順調を期する意味に於て今回は特に3ヶ月に亙つて賣出し、次の通り決定した。

積月 10、11、12 月積 値段 73 圓 等邊、不等邊共
締切 10、11 月積 10 月 18 日、11、12 月積 10 月 31 日

3) 賣出しに關する件 定期團より、大阪方面への入荷圓滑を缺き困惑を感じて居る故考慮され度しとの希望があつたのに對し共販から今後一層善處するが工場も現在では非常に能率が増進してゐるし積月も3ヶ月となつたので定期團からの寸法書呈出さへ從來のやうに遅延しなければ今後は順調に運ぶ筈であるとの旨が答へられた。

4) 定期團契約繼續に關する件 11 月積を以て終了する定期契約を尙 6 ヶ月延長する議が呈出されたが追而協議する事となつた。

11、12 月積線材共販賣出理事會 (内地向 5 圓上げ
輸出向 3 圓上げ)
月日場所 10 月 14 日 東京丸ノ内會館

出席者 神戸、製鐵及 5 社

議事 1) 11、12 月積賣出値段に關する件

(イ) 5 社希望 内地向 91 圓 輸出向 83 圓

C、I、F 値段は不相變 20 弗であるが爲替が前月の 23 弗 $\frac{3}{4}$ に對して $\frac{5}{8}$ と多少軟弱となつたので復々 45 錢揚とは云へ値上りを見るに至りあまつさへ外注との値鞘が依然として相當大きく開いてゐるので値上げの餘地が残されてゐるやうに思はれるし、前協議會の際も今回の値上げは約されてゐるので値上げは當然であるがアウトサイダーの進出、19 弗でオフアを漁る安値外國品、等の脅威もあり旁々從來共販の採り來つた漸進主義が好評で市場も穩健に推移したのであるから此の方針の下に騰勢を將來に残し市場を誘導する意味に於て内外向共に 2 圓上げの以上希望値段に決定されたし。

(ロ) 共販意嚮 内地向 94 圓 輸出向 84 圓

a. 區々の論はあるけれども常識的には今後當分は爲替の急騰は望むべくもないので前月の賣出し値段と今日の外注値段との大きな値鞘は今後の最少値幅たるプロバビリティー大にして 2 圓の値上げは過少と思はれる事。 b. アウトサイダーの進出も賣出數量の如何と現今の底力ある市況に於ては大なる障害ともならず尙復安値外國物も聲のみで正體を見ず況して實際上に於ても爲替の危険と内地品の出廻りを無視して輸入に走るとも思はれないので是れ亦 5 圓程度の値上げに對する脅威とならざる事。

c. 外注値段及鋼材市況全般より見れば此の程度の値上げは決して飛躍的の昂騰ではなくむしろ漸進と云ふべく今後に充分騰勢が残されてゐる事。等相對的強氣意見に立脚して内地向 5 圓上げ輸出向 3 圓上げに致し度し。

(ハ) 斯く 5 社側としては 2、3 圓程度つづゝ數回に

亙つて買上げ度き希望なりしも結局共販の意嚮に合流して次の通り決定した。

決定値段 内地向 91 圓 輸出向 84 圓

2) 賣出數量に關する件

(イ) 5 社希望 内地向 9,000 噸 輸出向 3,000 噸

内地向數量 9,000 噸は現在の實需に據つたる現状參酌の數量であり、輸出向 3,000 噸は前回以來要望の數量であるし且つ輸出が着々健實に優位を獲得しつゝある際なので共に要望通り賣出され度し。

(ロ) 共販意嚮 内地向 6,000 噸 輸出向 1,000 噸

從來兎角積遅れに對するお小言を頂戴してゐたので、3 箇月以來充分賣應じてゐる此際積遅れを一掃する意味に於て 6,000 噸及 1,000 噸に減少致し度し。

(ハ) 決定數量 内地向 6,000 噸 輸出向 1,000 噸

數量は工場能率及ストックに關する事なので如何とも致し方無く即時以上の通り決定したが數量が非常に減少したので申込の締切は行はず共販に於て適宜割當る事にした。

3) 輸出品振換に關する件 5 社より輸出向は本船出帆の都合もありロッドの積出を待ちては間に合はず取引上不便多きに依り積出前と雖もその受渡月なれば便宜振換へ積出差支へなきやう特に取計ひ願度しとの提案があつたが共販としては他の免狀を融通し或はアウトサイダー製品の積出免狀を以て代へるとかの専断なる折柄、事實は防遏困難とは云へ主義としては飽迄も振換を認めざる方針なるに依り「露見せず而も結果に於て同じである」と云ふ精神排撃の強調からも振換は絶対に認め難し。然し乍ら積遅れの爲め折角の商機を逸するのは誠に遺憾なるに依り個々の輸出につき申出であれば特に考慮して早くするとの事であつた。

Rod November/December

14th October, 1932.

C. i. f.	\$ 20.00	
Exch. 23%	¥ 84.66	
Int. 1.3%	1.10	
Landing Charges	1.00	
	¥ 86.76	¥ 85.48 per 1,000kgs.
		(In Bond)
Duty	22.01	
Per 1,015 kgs.	¥ 108.77	¥ 106.16 per 1,000kgs.
		(Duty Paid)

11、12 月積小型山形共販理事會一値上げ

月日場所 10 月 15 日 製鐵所東京出張所

出席者 釜石、製鐵及三井

議事 11、12 月積賣出に關する件

前理事會當時の爲替が現在より1弗方反撥してきへ其の差額以上にコストが奔騰してゐるので今回の河岸着値段は又復昂騰し建値は當然値上げの運命にある一方市場は品薄と他鋼材の値上りに引摺られたのであるとは云へ15圓を最低とする躍騰を示して居る状態であるし、伸鐵品も此の好況では他に寢返りを打つて執拗にからみつく心配も稍薄らいだので無暗に前進して伸鐵の進出を誘ふが如き程度は之を避けるも相當の値上げをする事とし其の販賣方法は例に依り理事長に一任する事となつた。

尙ほ販賣數量は9月積以來1,000 噸以上を連續賣捌いて漸く在庫も常態に復したが、不需求期を控へてゐる此際積遅れを來すが如き數量を賣出すは復々前年1,2月の如き市況を招來せぬとも限らないので充分市況を考慮する事とした。

Small Size Equal Angles Quotation

Tokio, Oct. 15th, 1932.

Specification	Hamburg tel. Exch. 13th Oct., 1932	23½%
⅝" × ¾" (3 × 20mm)	G. \$ 19.00	¥ 106.10
⅝" × 1" (3 × 25)	G. 18.00	101.92
" × 1¼" (3 × 30)	17.20	98.56
" × 1½" (3 × 40)	19.00	106.10
⅜" × 1¼" (5 × 30)	18.00	101.92
" × 1½" (5 × 40)	16.60	96.05
" × 1¾" (4 × 45)	16.00	93.54
¼" × 1½" (—)	16.50	95.63
" × 1¾" (6 × 45)	16.00	93.54
Import duty	¥ 25.06 per K. T.	
Charges & Int.	1.90 per K. T.	

ブラッセル齋藤囑託通信

10月14日入電 需要擡頭して市場活潑、相場次の通り。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2-11-0	2-10-0	2-11-6	2-3-6
鋼 板	シートバー	ピレット	
(⅜")	(assorted)	(4")	
3-0-0	2-1-0	1-18-6	

9月23日發信 市況は引續き人氣好調にて相場は手堅く保合ひ居れども取引數量は相當多量にて各方面への輸出商談成立せんと申候共英國向半製品のみは沈靜を傳ふる居候。

	Export	Inland
Bars (base)	£ 2-8-6	fr. 460
Angles (")	2-8-0	460
Joist N. S.	2-2-6	430
" B. S.	2-3-6	440
Hoops (base)	3-2-6	660
Wire Rod	4-15-0	—
Blooms (4")	1-18-0	350
Billettes (4")	1-18-6	375
Sheetbars (assort)	1-19-6	385
Plates (⅜" or 5mm)	2-17-6	550

東西市況—堅調不變

消費統計が無いので適確な事が不明なのは残念であるが色々聞いた處を綜合すると、兎に角今秋は少くとも去年よりは實需が多い様に感ぜられるとの事である。又今頃になつて地方筋も相當買付いて來たことや、特殊需要に原因する小工場の活況も今日の市況の刺戟となつて居る。それで今旬は平常なれば來勤近い事とて至つて鈍い筈であるのに可なり荷動きを見て居るとの事である。

こんな状態な爲め相場は店によつて區々となつて成行の真相の把握は困難であるが益々堅調であることだけは確かである。

然し好調裡に成つて戒心を缺けば因果は靦面である、此處で慢心すれば來年の1,2月には再び三度泣かなければならぬ、先物の申込に見る様な上氣せた浮調子であるなら鋼材界は必ずや幸福の神から見離されるであらう。聲を大にして警告する次第である。

東京市況

丸 鋼 9mm は伸鐵物の進出も見えて來て品薄の割には強調とはならず、ベース物は丸鋼組合が14日に復々2圓上げの72圓と協定し、小口物は此値段で取引されて居る模様である。中丸も荷動きは不活潑ではあるが値段は鰻上りとなり100mm以上の太丸も品薄の上大阪に引かれて9圓6,80錢と硬化して居る。

角、平鋼 角の12mm.15など北海道方面の需要もあつて鈍いながらもデリデリ高値へ運ばれ平の38mmは纏つた入荷があるので他に比して伸力添はず、50mmも最近の入荷で聯か緩和されたが其他は強調を傳へられて居る。

型 鋼 小型山形は共販の値上げも刺戟となつて騰勢となり5×40 7圓50錢、3×40 9圓3,50錢を彷徨して居る。中型山形は立ち後れの感があつたが懐へ仕舞い込むものや實需の出現で目先結局足りないと云ふ感を持つた爲め急騰歩調となり大阪高に煽られて9圓臺に近づく勢を見せる様になつた。大型物は總じて夏枯れ時の極端な手當薄の反動で市中手持薄となり。溝の6×65×125が如何に品枯れとは云ひながら16圓など云ふ狂相場を唱へられる様になつた。工形も愈々本調子の硬化を辿り前旬10圓臺の成行が今旬は11圓臺と1圓方の躍進となつた。

然し、三省しなければならぬのは此際である、今度の先物の申込が4萬5,000 噸を越すと云ふ誠に寒心すべき不眞目な現象を見る様になつた。9月渡以後の先物其他の市中に出る數量を考へる時は如何に實需があるとは

云へ市場には決して軽い荷物ではあるまい。賣手も買手も此際戒心しなければ 齧を噛むも及ばぬ様な禍根を養ふ様な事になりはしまいが。切に自重を望む。

鋼板 一時少し落ち付いた様な感を懐いた中板は、それも束の間で荷不足と思惑と折り重なつて東西再び力強く一步一步高値を辿る様になつた、1.6も何時の間にから 14 圓が通り相場となり 2.3 は 4×8 15 圓と新高値を吹き 3.2, 4.5, 6.0 は總じて 11 圓 3, 50 錢と云ふ成行で 9mm 以上も愈々 10 圓臺に跳び上ると云ふ盛況である。

大阪市況

丸鋼 何が鐵鋼界を昨今の如く好況に導いたか、といふ問題を分析検討して見れば、種々なるリアクションが現はれてくるであらう。即ち世界經濟界の大底入れ、我國對外爲替の慘落、需要期、其他政府の所謂インフレーション政策等々を擧げることが出来るが、また從來全く無統制なりし生産活動が、近來やゝ統制の効果をあらはし、よく需要との均衡がとれるやうになつたからと見るべきであらう。しかし昨今の如く好景氣になると、所謂咽喉もと過ぐねばあつきを忘るの例への如く、生産販賣の統制はとかく亂れ易い。こゝにそもそも今日の經濟組織の弱點があるのである。故に我鋼材市場人はこの際大いに自重せねばなるまい。6mm, 8mm は伸鐵方面よりどしどし注入あるも賣行良好なる所から前者は 8 圓、後者は 7 圓 70 錢と手堅い。ベース物は相變らず活況を呈してゐるので昨今素人筋の思惑買が市場に現はれた事であるが問屋筋では自重しこれらに對して警戒して賣應ぜざるものゝ如く従つて氣配も益々堅實なる歩調を辿つてゐる。中丸は相當纏つた引合もあり且つ市中皆無とあつて相場も高値を唱へられ目先期待すべきものがある。太丸も他鋼材の好調に連れて漸騰歩調にあり。

守らねば壁書も復古の捨團扇

角、平鋼 角鋼は取立てゝ書くべき材料はないが氣配の堅調には變りなし。平鋼は當所積遅れにて市中は益々品薄となり相場は 7 圓 3, 50 錢見當である。就中 1/2" は伸鐵材料高にて安値には賣應ぜぬため 7 圓 50 錢以上を唱へられてゐる。

型鋼 小形アングルは共販も漸次値上げを發表しており伸鐵も既報の如く製作中止にて且つ當所積遅れにて相場は上昇の一途を辿るのみで遂に 8 圓臺となつた。3×40 等は最近大口注文が出たため、にはかに暴騰し 9 圓擲みを唱へられてゐる。中型アングルは積遅れにて市中相場は益々高く目下 9 圓以上を唱へられてゐる。大型ものは遂に 100 圓を突破した。溝型鋼は最近注文一時に殺倒したため相場も別表の如く異常なる高値を示してゐる。

工型鋼不變。

鋼板 一二中枚は既報の如く問屋筋のコントロールがやゝ利いて落付きを見せてゐたが實需の擡頭とよもに氣配は又復引締つて來た。原板は市中皆無にて相場は非常に高い。

線材 積遅れにて市中在庫は極度に拂底し且つ製品界の輸出旺盛と相俟つて相場は全く天井知らずの有様で本月 14 日には 97 圓唱へのものが本市況起草中(15 日)には遂に 105 圓にまではね上つた。先行については一に共販よりの積出如何によるものと見られてゐる。

鋳力板 昨今の鋳力板相場は日々反騰を持続してゐるが、これは實需の旺盛に基くものとは違つて單なる品掠れ、其他の策動屋の市價吊上策によるものと見られてゐる。

販賣旬報 第 212 號 昭和 7 年 11 月 1 日

製鐵所販賣部

11, 12 月積線材割當理事會

月日場所 10 月 15 日 製鐵所東京出張所

出席者 神戸、製鐵所

議事 11, 12 月積線材割當に關する件

今回の賣出數量は内地向 6,000 噸、輸出向 1,000 噸である。

先物の申込が 4 萬 5,000 噸で開いた口が塞がらなかつたのは三番叟で、引續き薄板 8 萬 5,000 噸、厚板 15 噸と云ふ馬鹿馬鹿しい申込状態を現出する此頃では申込は當然賣出數量を遙に超過するので既定の通り申込の童話劇はお藏にして過去の實績に徴して共販に於て適宜割當る事とした。

只さへ需要期の最中であるのに踊る市況を眺めては咽から手が出る程喰ひつきたい處へ賣出數量を減らされたので茲許空腹の態と云はれてゐるが之れを映して市況は堅實に騰勢を持続してゐるし、腹八分目が健康への第一歩たるを思へば現在の多少の不自由は我慢せらるべきで結局整腸劑に優る靈藥となるのではあるまいか。

11, 12 月積線材引受高

向先	區別	申込高			引受高		
		神戸	製鐵所	計	神戸	製鐵所	計
内地向	東京	—	—	—	—	1,742	1,743
	大阪	—	—	—	3,000	1,108	4,108
	名古屋	—	—	—	—	150	150
	八幡	—	—	—	—	—	—
	計	—	—	—	3,000	3,000	6,000
輸出向		—	—	—	500	500	1,000

11, 12, 1 月積厚板共販賣出理事會—7 圓上げ

月日場所 10 月 19 日 大阪電氣俱樂部

出席者 浅野、川崎、東海及製鐵

議 事

1) 11, 12, 1 月積賣出値段及數量に關する件 理事会に入るに先立ち 4 社希望として値段は 7 圓上げ、數量は可成多く出され度く 若し申込を充分引受け難ければ定尺及切板を控目に耳附を多く 賣出され度しとの案が傳へられたので 以上要望を基礎に外注値段及市況を参照して別項の通り決定した。

2) 注文収集に關する件 今後各社は直接注文の収集に關係せずして一切中央事務所が其の掌に當る事となつた。

11, 12, 1 月積賣出値段

- イ 先物値段 耳付 80 圓 7 圓上げ
定尺 83 圓 7 圓上げ 切板 89 圓 7 圓上げ
6 耗厚のエキストラは 2 圓 締切日 10 月 25 日
- ロ 隨時引合 耳付 83 圓 7 圓上げ
定尺 91 圓 7 圓上げ 切板 91 圓 7 圓上げ
- ハ 造船材料其他も相當の値上げに決定

外 注 値 段

C. I. F. \$ 17.75 Ex. 23 1/2 K. T ¥ 100.87

11, 12, 1 月積厚板の締切理事会—申込 5 萬噸

月日場所 10 月 28 日製鐵所東京出張所

出席者 川崎、浅野、東海、製鐵

議 事

1) 11, 12, 1 月積の締切 劍劇が盛になればチャンバラゴツコ、滿洲事變があれば 戦争ゴツコ、ギヤングが出ればパチンコゴツコと 兎角子供はいとも無雜作に何も彼もゴツコにしてしまふが 此處に又近頃小供ならぬ大供の間に「申込ゴツコ」と云ふ妙なゴツコが流行してゐる。

子供のゴツコは可愛氣があり 繪にもなるが鐵屋さんの此のゴツコは鼻持ちならぬ惡趣味である。

先物の 45,000 噸がゴツコの始まりだつたが今回の厚板の申込に至つては 沙汰の限りで、ゴツコも此處まで來るとおまはりさんの取締りを喰ふ代物である。146,000 噸と云ふ未曾有の申込高は 實需に基いた數量でないことは勿論、思惑とするも餘りに龍大到過ぎて 若し是れをその儘引受けられたら 何う云ふ場面が生じるであらうとお茶うけのお笑ひ草にもなる程根據の無い 申込狀態で強て理由をつけるならば、いやがらせと、どうせ 不足の此の際せめて申込の數字丈けでも 大きく書けと云ふ言はうやうない不眞面目であると 嘆く人の言が當つてゐるのではあるまいか。

現在の經濟界は確に躍動して居り 先行も好材料に恵まれてゐるので 決して惡化すると云ふのではないが ざりと

て此頃の鐵鋼界殊に厚板の申込に見るが如き 事態を誰が正氣の沙汰と見るであらう、此の頃の氣配が永續するならばよし、若し金の亡者の如く「儲け度い、遣り度くない」と云ふ手合が一時の好況に際して前後を忘却して利己心の赴くまゝに動いてゐるのに乗つてうかうかと増産でも始めやうものなら 其の後に來るものは餘りにも生々しい最近 1, 2 年のあの悲境である。無心に育つ植木の枝を下すのできへ 時と法を過まれば枯死する、況して複雑なるメーカーの機能を今日の景氣に浮かれて倍増し、明日の沈滞に際して半減する事は 經濟的に不可なるのみならず社會的大問題である。

インフレーション景氣よし、需要の擡頭よし、然しながら無暴なる猪突は誠むべく 決して御互に生きる常道ではない。

目下の鐵鋼界殊に今回の厚板の申込の如きは 常軌を逸してゐると云はれても致し方のない狀態で 少くとも今日より市況が安定し 將來に對する見通しがついて後始めて時勢に適應する處置を採つてこそ メーカーの責任を全うする事となるのではあるまいか。斯う云ふふ申込に對して眞面目に考へるのが愚であるが 共販としては未渡の荷物の多い折柄先づ 其の 始末をつけるのが 順當で且つ 今回の申込は狂氣の沙汰で 斯ういふ秋にこそ自重して悔を將來に残さぬやうにする要ありとの 見地より引受數量を 3,100 噸と制限した。

2) 10 月 28 日以後隨時賣値段改正の件 今日締切理事会であるが、賣出理事会當時の C. I. F. 17 弗 75 仙爲替 23 弗 1/2 に對して今日は C. I. F. 18 弗 65 仙爲替 21 弗 1/2 となり河岸着値段は暴騰を來したので 隨時賣値段改正の要ありとして 締切終了後隨時賣の臨時理事会を開催し 適當に値段を改正した。

	耳 附	定 尺	切 板	計
申込數量	75,438 噸	61,520 噸	9,151 噸	146,139 噸
引受數量	2,720	280	100	3,100

11. 12 月積黑飯共販賣出理事会—10 圓上げ

月日場所 10 月 21 日 大阪電氣俱樂部

出席者 川崎、中山、徳山、日鋼、製鐵及 4 社

議 事 11, 12 月積賣出に關する件

1) 提出された買手側希望案は次の通りである。

11 月渡し黑飯賣出 4 社希望案

- (1) 薄物 (イ) 需要實勢に即する爲に 3' x 6' 浪原の比率を共販全部に於て次の通り是非實行され度し。
 - No. 30 1/2 x 3' x 6'—13 Sheets 6 割
 - No. 30 1/2 x 30'' x 6'—33 Sheets } 1 割 6 分
 - No. 30 1/2 x 30'' x 5'—
 - No. 30 1/2 x 30'' x 7'—27 Sheets } 2 割 4 分
 - No. 30 1/2 x 30'' x 8'—25 Shetsej }

(ロ) 値段 (イ) を条件として

内地	13 枚	浪原 6 尺	145 圓	(5 圓値上げ)
		浪原 5 尺、7 尺、8 尺	150 圓	(10 圓値上げ)
		3'×7' 3'×8'		
輸出	13 枚	浪原 6 尺	135 圓	(5 圓値上げ)
		浪原 5 尺、7 尺、8 尺	140 圓	(10 圓値上げ)
		3'×7' 3'×8'		

(ハ) 數量

内地 最高 10,000 吨以内
 輸出 申込みによる、但し最低 3,500 吨以上

(2) 厚物 需要の實勢に即する爲め A 級—6 割、B 級—2 割 5 分、C 級—1 割 5 分とする事。

(イ) 値段 内地輸出 } 5 圓値上げ

(ロ) 數量 申込による、但し前月より増加され度し

(3) 共販の賣出しは賣手オプションに付き製鐵所製品の積出月は 2 箇月に亘り居るも他共販メーカー同様に訂正され度し。

(4) 賣出し値段発表の際前記の如く薄物の比率及び厚物にて引受け出來ざる品目は明確に示され度し。

(5) 2 級品の販賣統制法を詳細承り度し。

2) 理事會に於ける協議事項

(1) 値段 別項外注値段と現在の共販建値を比較する時は其間あまりに懸絶し、一般鋼材に比しても値開き過大なると買手側の希望も参照して此際大體 10 圓程度の値上げを至當と考へ次記の通り決定した。

(2) 數量 大體買手希望を妥當と信ずるも申込状態及各社の生産も考慮して 1 萬吨内外と云ふことに一致した。

(3) 其他 4 社希望に對する回答

- a. (2) の厚物に關する件は組合の参考とすべし。
- d. (3) の製鐵所積月に關する件は「呼聲に 1 箇月にて可なるも、期限後れに關する限り製鐵所先物と同一趣旨にて取扱ふ」と云ふこととした。
- c. (4) 薄物の比率及厚物の引受諾否の件は製鐵所は 10 枚物の 3×6 のみ、中山は外部へは辭退。
- b. (5) の 2 級品の統制は未だ正式には決定せざるも大體の主旨は共販の販賣比率に含有せしむること及び外部より 1 時半以内に疵あるものを 2 級品とすることに決定する筈、猶決定次第發表すべし。

3) 決定事項

(1) 値段 薄物

内地向	平浪	板原板	150 圓	(10 圓値上げ)
		原 6 尺	152 圓	(12 圓値上げ)
		7 尺、8 尺	155 圓	(15 圓値上げ)
輸出向	平浪	板原板	145 圓	(15 圓値上げ)
		原 6 尺	147 圓	(17 圓値上げ)
		7 尺、8 尺	150 圓	(20 圓値上げ)

厚物 内地向

12 枚物	146 圓	(10 圓値上げ)	7 枚物	133 圓	(10 圓値上げ)
11 枚物	144 圓	(")	6 枚物	131 圓	(")
10 枚物	142 圓	(")	5 枚物	127 圓	(")
9 枚物	137 圓	(")	4 枚物	125 圓	(")
8 枚物	135 圓	(")	3 枚物	123 圓	(")

輸出向 内地向の 5 圓安、所各社格差統制通り。

(2) 數量 内地向 1,000 吨以外

輸出向 } 申込を見たる上決定
 厚物 }

13 枚物と浪原の引受の比率は概ね 7 對 3 とす。

厚物 A, B, C の引受割合は次記の通り。

A 60% B 25% C 15%

(3) 締切 10 月 25 日 發表 10 月 26 日

Quotation of British Black Steel Sheets

nov. Arrival (for Domestic)			
3'×6'×280sheets		Narrow	
cif.	£ 10-15-0	cif.	£ 10-15-0
Ex. 1/4-9/16	¥ 155-88		¥ 155-88
Int. 1-3%	2-03		2-03
Duty	43-50		43-50
Landing	.80		.80
	¥ 202-21		¥ 202-21
per sheet	722 6'348sh.	581 325sh.	¥ 188-83
268 sheets	¥ 193-50	7'290" 697 276"	192-37
		8'260" 778 246"	191-39
		Average	190-86
For Export			
3'×6'×280sheets		Narrow	
cif.	£ 10-15-0	cif.	£ 10-15-0
Ex. 1/4-9/16	¥ 155-80		¥ 155-88
Int. 1-3%	2-03		2-03
Landing	.80		.80
	¥ 158-71		¥ 158-71
per sheet	567 6'348sh.	456 325sh.	¥ 148-20
263 sheets	¥ 151-96	7'290" 547 276"	150-97
		8'260" 61 246"	150-06
		Average	¥ 149-74

薄板締切理事會

日時場所 昭和 7 年 10 月 26 日 大阪電氣俱樂部

出席者 共販各社外に 4 社出席

議事

鋼材界全般の活況につけて薄板の申込も連月激増を告げてゐたが今月の申込は薄物、厚物を通じて實に 85,000 吨の多きに達した。勿論全數量の賣出を希望してのことではなし、引受けたとしたら 卒倒者續出であらうが有頂點に有る鋼材界の一斑を知るには足るであらう。

例年ならば不需求期に呻吟してホイコットやら彼方此方にもめどとが起つてもいゝ時分だとのこと今更乍らインフレーションとか云ふものが有難くも思はれる。然し共販は此の際を自重して前月より 2,500 吨を減じて薄物内地引受數量 11,000 吨に止め其他も大削減を加へて大い

に自重振りを發揮した。

申込及各社引受數量は次記の通りである。

(1) 申 込 薄 物 部

内地 38,624 吨 輸出 12,160

厚 物 部

	内地向	輸出向		内地向	輸出向
A	14,929 吨	1,345 吨	C	11,716 吨	30 吨
B	4,695	470	計	32,340	1,870

(2) 引 受 薄 物 部

	内地	輸出		内地	輸出
川崎	5,910 吨	1,050 吨	徳山	610	200 吨
製鐵	2,200	320	日鋼	450	100
中山	1,830	500	計	11,000	2,170

厚 物 部

	A	B	C	計
川 崎	2,100 吨	600 吨	300 吨	3,000 吨
製 鐵	300	—	—	300
中 山	150	150	—	300
徳 山	726	697	746	2,169
日 鋼	260	160	130	550
計	3,536	1,607	1,176	6,319

ブラッセル齋藤囑託通信

10月22日入電 市場活潑にして値段益々強調。

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2-12-6	2-11-0	2-12-6	2-5-6
鋼 板	シートバー	ピレット	
(3/16)	(assorted)	(4'')	
3-0-0	2-1-0	1-18-6	

10月29日入電 市場甚しく活況を呈す。相場次の通り

棒 鋼	大型山形	中小型山形	工形(B.S)
2-17-7	2-16-0	2-17-0	2-7-0
鋼 板	シートバー	ピレット	
(3/16)	(assorted)	(4'')	
3-3-0	2-3-6	2-1-0	

9月30日發信 市況は別段先週と變りなく手堅く保合居候。

10月7日發信 市況は一服と云ふ姿にて先行樂觀人氣充滿し最近再び一層の活氣を呈すべしと申居候。

東西市況—連日連騰 今旬に於ける狂相場は恐らく遠くない將來に於て昔談りの種となるであらう。

6月以後に於ける手當薄、好調による市中手持増加の傾向、秋季の消化力増加に加へて特殊の需要の擡頭、之に鞭つ海外の連騰と爲替安が加味せられて9月以來先づ大型物、中板が昂騰を續けて來たが、今旬に入るに及んで今迄の立ち遅れとなつて居た棒鋼類、中小型に俄然點火されて先づ中型山形の奔騰を見、最後に丸鋼、角に及び奔馬の如き勢を以て連日と云ふよりも時々刻々に高値へ高値へと引きづり恐らく此4-5日が其クライマツスと思はれる程の混亂状態を出現した。

従つて市場は品種の如何を問はず安値物漁りとなり、實需よりも人氣作用により問屋間の取引盛んで今の處は落付く先の見當も付かぬが、大型物は當所の先物 15,000 吨の引受によつて實質的には未だ市場に響かぬが買氣は若干そがれた模様と見られて居る。

何年振かで「餅」は慥かに眼前に出たが之が將して口に入るか、或は單に畫に書いたものに終るかは來年の春に示して呉れるであらう。

東 京 市 況

丸 鋼 27日關東鋼材は一躍15圓上げの85圓を發表したが、市場は24、5日頃より俄かに硬化して前旬7圓20錢の成行が29日には9圓50錢となり10圓50錢を稱へるものもあつて連日5圓、10圓と大幅と飛躍を續けて居る、9mm、12mmも急に品薄の感を生じ大臺を突破し6mmなどあれほど氣に病んだ伸鐵の話など吹き飛ばして躍進を續けて居る。50mm以上も當然かの様に硬化を續けて居る。

角、平鋼 世界がこうなれば理屈は抜きに安値は買はれ角、平共丸に連れ暴騰となり今日は未だ9圓臺が残されて居るが一兩日中には10圓以下は姿を消すであらうと云はれる程である。

型 鋼 中型山形は品不足による西高の爲め大部大阪へ流れて東京が俄に手持薄となり、それに立ち遅れと云ふ人氣が加味されて連騰して遂に大型を追い越した、大型型物は前旬よりは特殊なものを除いては3、5圓高となつたが棒鋼に比すれば大部騰勢鈍く大體山も見えたと言はれて居るが前旬狂相場と云はれた16圓は今日は當然の成行と觀ずる程一日と變化して居る、概して大型物は買氣一服と共に高値賣抜けの感があると云はれて居る。

鋼 板 中板の暴騰振りに就ては遂に書くべき言葉がない程となつた、16×5×10の45圓など如何に無い物とは云ひ勿ら誠に沙汰の限り、16、23は總て20圓以上32、45も殆んど20圓の壘を磨するばかりとなつた。今旬特に目立つのは60以上の厚板でこれから相場は變化あるものと見られて居る。

大 阪 市 況

丸 鋼 最近弗の國アメリカには經濟心理論とでもいふやうなものが大分唱へられ出したとの事である。換言すれば不景氣或は好景氣も實質以上に人氣によつて左右されてゐるやうである。これがヤンキーの持つ特質とでも言ひ度いが手前日本人にもこうした風が十二分に覗はれる。その實例として昨今の我鋼材市場を見よ。たゞ單なる群衆心理によつて相場が狂騰を演じてゐるのではあるまいか。勿論本月25日には爲替の大暴落にて賣手全く

影を潜め猫杓的の買手殺到したため相場はいやが上にも吊上げられたといへばそれまでであるが、兎に角、この際人氣の轉換が第一であらう。来るべき反動の恐るべきを思へば。

6mm, 8mm 等は市中極度の品掠れを傳へられてゐる様子であるがその眞偽はともかく、問屋の思惑のため相場が沸騰してゐることは事實で前者は 10 圓 50 錢、後者は 10 圓に臺變りとなつた。9mm は昨今伸鐵屋も賣惜みの態にて先旬來一擧に 2 圓方の暴騰振りを示してゐる。中丸は引續き活況を呈し益々緊張味を加へつゝある。太丸は他のものに比し伸力はやゝ鈍いが遂に 10 圓 10 錢以上を唱へられてゐる。

稻刈れば化をあらはず案山子かな 蕪村
角、平鋼 角鋼の需要は丸鋼の如くポピュラーでないので従つて相場の動きも比較的少いが目下の唱へは 9 圓 3、40 錢見當である。平鋼は伸鐵品も安値には賣り應ぜぬため市中相場は全く天井知らずの有様と示はれてゐる。

型鋼 山形鋼小型ものは伸鐵方面も材料高にて製作中止の状態にあり且つ當所よりの手當も少いため品不足にて市中相場は 3×25, 3×30 は 9 圓 50 錢、3×40 は 10 圓 50 錢と法外に高い。中型ものは別表の如く 12 圓以上を唱へられ共販建値をはるかに上廻るに至つた、これがためアウトサイダーもこれが製作準備中との事にて先行に對しては豫斷を許さぬが市中品薄と相俟つて茲許手

堅き含みで保合つてゐる。大型ものは引續いて建築方面より大口注文あり従つて市中品皆無の状態にて相場は區々なるも先旬來 100 キロ 2 圓方暴騰した。溝形鋼 2½×5' は當所よりの荷廻り不順調なる所へ買手一時に殺到したため遂に 20 圓臺のせとなつた。其他のものは相變らず堅調。工形鋼市況は山形アングルとほぼ同じと云はれてゐる。

鋼板 1、2 中板は賣出し數量の制限、積遅れ等の刺激材料に加へて問屋の思惑買もあり、且つ外注も今すぐには間に合はぬとあつて市中は全く狂相場を現出し氣配は混沌として豫測を許さず。厚板は他鋼材の暴騰に連れて反騰し且つシーヤも近年にない強腰を唱へ買手は全く手の出しやうがないと云はれてゐる。

線材 暴虎水河を不見の例の如く我がロッド界も危い處まで來た、即ち製品をはるかに上廻るにいたつた。従つて昨今は製品輸出もやゝ鈍つたと云はれ、共販よりの積出しあり次第相場は廻れ右をするであらうと見られてゐる。

鋳力板 先旬來氣配は幾分呆け氣味なりしが本月 14 日頃より又復じり高歩調に轉じた模様である。昨今の實需筋の食指の動き振りを眺むれば先高を豫想されるが何分にも品物は市中一部の問屋に偏在の様子なれば、この際迂濶に手出しは出來まいと見られてゐる。

昭和 7 年 9 月中 3 港 鋼材 輸入 數量表 (單位噸)

品 種	區 分	港 別			9 月 計	前 月 計	本 年 累 計	前 年 同 期 累 計	
		神 戸	大 阪	横 濱					
丸角平等	鋼	111	350	131	592	976	6,216	6,416	
	鋼	19	—	59	78	295	1,223	1,005	
	山	82	56	61	199	295	4,709	3,722	
不溝工鋼	等	—	—	—	—	—	671	320	
	山	—	—	1	1	—	541	226	
	形	—	—	—	—	—	279	413	
鋼板 (0.7mm 超)	板	20	—	9	29	400	6,116	4,774	
	鋼板 (0.7mm 以下)	—	10	—	10	9	10,625	12,357	
鋼鋳軌線	力	689	277	908	1,874	2,909	44,472	28,612	
	條材	71	—	31	102	351	2,968	2,703	
シートパイピング	鋼	133	300	154	587	656	16,148	45,690	
	管	—	752	—	752	1,808	8,999	5,799	
鋼其	他	16	4	237	257	343	4,747	7,096	
	計	93	3	369	465	448	6,696	5,030	
		1,234	1,752	1,960	4,946	8,490	115,017	125,696	
硫石ナク	炭酸ソル	安	1,524	—	—	1,524	—	84,048	88,542
		酸	—	—	—	—	5	152	91
		ソ	—	—	—	—	104	2,602	2,045
		30	—	7	37	36	572	478	

線材、薄板、鋇力板輸入速報集

品名	10月上旬				10月中旬				10月下旬			
	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計	神戸	大阪	横濱	合計
	自9月29日 至10月7日	自9月29日 至10月7日	自9月28日 至10月7日		自10月8日 至10月18日	自10月8日 至10月17日	自10月8日 至10月17日		自10月19日 至10月28日	自10月19日 至10月28日	自10月18日 至10月27日	
B. W.G.No.5	—	—	55	55	—	251	201	452	—	—	—	—
線材	—	—	—	—	55	343	—	403	—	—	—	—
其	—	—	—	—	55	599	201	855	—	129	—	129
他	—	—	—	—	55	599	256	910	55	728	256	1,039
10月計	—	—	55	55	—	37	32	69	—	—	1	2
薄板	—	5	44	49	—	42	76	118	113	349	597	1,059
0.7mm以下	—	—	—	—	—	75	—	75	866	440	60	1,366
10月計	112	274	596	982	—	349	596	1,057	866	482	136	1,484
鋇力板	—	—	—	—	112	—	—	—	—	—	—	—
10月計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

東京大阪市中相場 (單位噸)

寸法	10月上旬		10月中旬		10月下旬		寸法	10月上旬		10月中旬		10月下旬		
	東京 10月 8日	大阪 10月 5日	東京 10月 18日	大阪 10月 15日	東京 10月 29日	大阪 10月 25日		東京 10月 8日	大阪 10月 5日	東京 10月 18日	大阪 10月 15日	東京 10月 29日	大阪 10月 25日	
丸鋼														
6mm	8.20	7.90	8.10	8.00	12.50	10.50	5×50×100	11.50	10.80	12.00	12.00	17.00	16.00	
9	7.00	6.70	7.20	6.80	11.00	9.00	6×65×125	15.00	13.00	16.00	16.00	18.00	18.00	
12	"	"	"	"	"	9.50	3/8×3'×6'	12.00	11.00	14.00	11.00	17.00	14.00	
19	"	6.80	"	6.75	9.50	9.30	3/8×3×8	10.00	9.00	11.00	12.00	15.00	13.50	
25	"	"	"	"	"	"	9×90×250mm	14.00	11.00	13.50	"	18.00	14.00	
50	8.00	8.10	8.20	8.00	11.00	10.00	10×90×300	11.50	10.80	14.00	"	"	16.00	
65	"	"	8.30	"	11.30	9.70	工形鋼							
mm mm mm														
9mm	7.30	7.40	7.30	7.30	10.50	9.30	5.5×75×150	10.50	10.80	11.00	11.00	15.00	12.50	
12	6.80	7.20	7.20	7.10	10.30	9.40	7×100×200	13.00	10.50	14.00	13.50	17.00	14.00	
15	"	"	7.00	"	9.80	"	9×150×300	10.00	10.00	11.50	12.50	16.00	"	
19	"	"	"	7.15	"	"	12×150×300	9.90	9.50	10.50	10.00	15.00	12.00	
38	"	7.40	"	"	"	"	10×125×250	11.00	10.00	13.00	13.00	16.00	13.50	
平鋼														
mm mm mm														
6mm×38mm	6.80	7.20	6.80	7.20	10.00	9.30	鋼板							
6×50	7.60	7.30	7.40	7.35	"	"	1.6×3'×6'	14.50	13.80	14.50	14.00	22.50	20.00	
6×75	6.80	7.20	7.20	7.00	9.80	"	1.6×4×8	14.20	14.10	14.30	"	23.00	25.00	
9×100	6.90	"	7.30	7.20	"	9.40	3.2×4×8	10.70	10.50	11.30	11.00	19.00	18.00	
12×100	"	7.50	7.20	"	"	9.50	3.2×5×10	"	"	"	"	22.00	19.00	
等邊山形鋼														
mm mm mm														
6×50×50	8.50	8.80	8.70	8.80	18.00	12.00	6.0×4×8	10.80	10.10	11.50	10.30	19.00	17.00	
6×65×65	8.30	"	"	9.10	15.00	"	6.0×5×10	"	10.20	"	10.50	"	"	
9×75×75	8.60	8.80	"	8.90	14.00	"	9.0×4×8	9.70	10.00	10.00	9.80	16.00	16.00	
9×130×130	10.00	10.50	10.00	10.50	12.00	13.00	9.0×5×10	"	9.70	"	9.60	15.00	"	
12×130×130	10.50	10.00	10.50	"	11.50	13.50	薄鋼板(13枚)							
15×150×150	11.00	11.00	11.00	10.70	12.00	"	英							
不等邊山形鋼														
mm mm mm														
10×50×75	8.50	8.80	8.50	9.50	11.50	11.00	川崎	—	—	—	—	—	—	
10×75×100	8.00	8.20	"	9.00	12.00	12.00	八幡	52	55	52	57	60	60	
10×90×125	"	"	"	"	"	"	鋇力板							
9×100×150	9.50	10.00	10.50	10.50	"	12.50	米	{170lbs	27.00	27.20	28.00	28.00	28.50	29.00
12×100×150	"	"	"	11.00	"	13.00	{100	16.00	14.30	17.00	15.00	17.00	16.00	
線材														
No.5#														
91.00 93.00 97.00 105.00 125.00 123.00														

備考 單位 100 斤につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋇力板は 1 箱當り。

昭和7年9月中神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

噸數	寸法	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		7/16	3	シート		軌條計 102		フープ		7 1/2	24
丸鋼	1	3/8	3	パイピング		線材の部		43mm	26	計	703
		1/2	3	計	752	線材		50	5	リボン	
3/16	3	3/4	4	型鋼計	753	線材		53	30	計	361
		5/8	2	條鋼計	1,649	B.W.G.No.		57	5	フレック	37
1/4	5	7/8	7	鋼板の部		鋼管の部		60	10	シートの部	155
		1 1/4	9			鋼管		67	5	パイレット	9
3/8	5	1 1/2	4	(鋼板0.7mm超)		鋼管		69	3	ケツグスル	11
		1 3/4	4	3/4	6	鋼管		47	5	チ	
1/2	16	2	4	1 1/4	3	鋼管		79	7		
		2 1/2	4	1.2mm	2	鋼管		87	17		
3/8	9	2 1/2	4	1.5	1	鋼管		87	17		
		3	3	2.2	1	鋼管		98	5		
2 1/2	5	3	3	2.5	3	鋼管		101	5		
		4	2	2.85	2	鋼管		115	11		
3 1/4	10	4 1/2	2	B.W.G.No.		鋼管		119	7		
		5	3	13	2	鋼管		125	15		
1	11	6	2	15	5	鋼管		166	3		
		計	77	計		25	鋼管		37	2	
1 1/8	9	7/8	7	(鋼板0.7mm以下)		鋼管		52	3		
		平鋼		30	9	鋼管		39	3		
1 1/4	23	3 3/8	6	電氣鐵板		鋼管		30	31		
		1 1/2	5	0.6mm	107	鋼管		19	18		
1 3/8	5	1 1/2	11	0.7	2	鋼管		16	28		
		1 5/8	11	0.8	2	鋼管		6	10		
1 1/2	14	1 9/16	2	1.0	12	鋼管		22	5		
		1 3/4	10	1.2	2	鋼管		8	13		
1 5/8	10	1 3/4	7	1.5	5	鋼管		2	3		
		計	77	1.6	2	鋼管		3	5		
1 3/4	23	1 1/4	6	1.6	2	鋼管		10	12		
		1 3/8	5	2.0	5	鋼管		1	8		
1 1/2	14	1 1/2	11	2.5	3	鋼管		5	5		
		1 3/4	10	3.0	2	鋼管		6	13		
1 5/8	4	1 3/4	4	3.2	5	鋼管		6	13		
		計	77	計		147	鋼管計		256		
1 3/4	23	1 1/4	6	鋼力板		其他鋼材の部					
		1 1/2	5	0.7	2	特殊鋼					
2	8	1 9/16	2	0.8	2	丸鋼		199			
		1 3/4	10	1.0	12	角鋼		16			
2 1/4	10	1 3/4	4	1.2	2	平鋼		32			
		計	77	1.5	5	鋼板		12			
2 3/4	8	2 1/4	3	1.6	2	其他		7			
		3	8	2.0	5	計		266			
3	8	2 1/2	20	2.5	3	外輪		1			
		3 1/4	6	3.0	2	計		267			
3 3/4	4	2 5/8	2	計	1874	其他鋼材計		267			
		計	77	鋼板計	2,055	鋼材計		4,915			
4	4	3	23	鋼條及附屬品の部		軌條		102			
		計	77	軌條		Elevator用					
4 1/4	23	3 3/16	12								
		3 1/2	2								
4 1/2	30	3 1/2	2								
		3 3/4	2								
4 3/4	30	3 3/4	2								
		計	77								
5	30	3 3/4	2								
		計	77								
5 1/4	21	3 3/16	2								
		計	77								
5 1/2	23	4	17								
		計	77								
6	45	4 1/2	2								
		計	77								
6 1/2	18	5	2								
		計	77								
7	23	6	12								
		計	77								
7 1/2	21	mm									
		計	77								
8	28	30.5	5								
		計	77								
89mm	23	六									
		計	77								
48	5	角	鋼								
		計	77								
計 501											
造船材料											
39mm	83	棒鋼計	896								
		型鋼の部									
計	83	不等邊山形鋼									
		計	39								
丸鋼計	584	mm mm	50x25	1							
		計	1								
角	鋼	3/16	1								
		計	584								
3/16	1	1/4	3								
		計	584								
1/4	3	3/8	6								
		計	584								
3/8	5	1/2	9								
		計	584								
1/2	16	3/4	16								
		計	584								
3/4	5	1	7								
		計	584								
5/8	5	1 1/4	9								
		計	584								
1	11	1 1/2	4								
		計	584								
1 1/8	9	1 3/4	4								
		計	584								
1 1/4	23	2	8								
		計	584								
1 3/8	5	2 1/2	4								
		計	584								
1 1/2	14	3	23								
		計	584								
1 3/4	10	4	8								
		計	584								
1 5/8	4	5	2								
		計	584								
1 3/4	23	6	23								
		計	584								
1 1/2	14	7	2								
		計	584								
1 1/4	23	8	28								
		計	584								
1 3/8	5	9	6								
		計	584								
1 1/2	14	10	10								
		計	584								
1 1/8	9	11	11								
		計	584								
1 1/4	23	12	7								
		計	584								
1 3/8	5	13	2								
		計	584								
1 1/2	14	14	11								
		計	584								
1 3/4	10	15	5								
		計	584								
1 5/8	4	16	4								
		計	584								
1 3/4	23	17	17								
		計	584								
1 1/2	14	18	2								
		計	584								
1 1/4	23	19	2								
		計	584								
1 3/8	5	20	20								
		計	584								
1 1/2	14	21	21								
		計	584								
1 1/4	23	22	6								
		計	584								
1 3/8	5	23	11								
		計	584								
1 1/2	14	24	24								
		計	584								
1 1/4	23	25	3								
		計	584								
1 3/8	5	26	2								
		計	584								
1 1/2	14	27	2								
		計	584								
1 1/4	23	28	11								
		計	584								
1 3/8	5	29	2								
		計	584								

昭和7年9月中當所品種寸法別生産高 (其ノ一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
棒鋼の部		19mm	253	小形不等邊山形鋼		丁形鋼		3mm	242	15mm	35
		22	205	mm mm		1½" × 1½"	40	3.2	836	16	30
小型丸鋼		25	403	50 × 35	23	2 × 2	12	3.5	104	17	6
		32	187	計	23	3 × 3	4	4	492	18	13
8mm	70	計	1,052	中形不等邊山形鋼		計	56	4.5	213	19	3
9	5,213	中形平鋼		mm mm		球山形鋼		5	166	20	7
計	5,283	65mm	17	65 × 50	50	200 × 75	47	5.5	4	22	53
中型丸鋼		70	1	75 × 50	176	計	47	計	4,555	25	11
		75	399	90 × 60	2	厚鋼板		6mm	641	26	2
55mm	6	80	2	90 × 75	166	7	93	7	93	27	2
60	24	90	143	100 × 75	190	8	710	8	710	23	56
65	183	3⅞"	129	4" × 3½"	7	9	242	9	242	30	7
70	136	計	691	計	591	10	513	10	513	32	68
75	169	平鋼計 1,742		大形不等邊山形鋼		mm mm		11	61	33	8
		80	62	mm mm		400 × 100	16	12	645	35	6
		85	59	125 × 75	342	400 × 125	398	13	28	36	23
		90	863	125 × 90	220	計	414	14	312	38	22
		95	70	150 × 90	212	型鋼計 11,129		15	20	38.1	4
		100	423	150 × 100	675	條鋼計 23,195		16	310	40	23
計	1,995	72mm	296	計	1,449	鋼板の部		17	8	45	30
大型丸鋼		112	828	不等邊山形計 2,063		薄鋼板		18	115	計	1,617
		119	164	溝形鋼		sheets		19	85	縞中鋼板	
		149	189	100 × 50	453	6	17	20	87	4.5mm	3
105mm	57	計	1,477	180 × 75	304	7	226	計	3	計	3
110	8	半丸鋼		200 × 70	150	8	67	縞厚鋼板		6mm	2
115	124	計	1	200 × 80	587	10	186	7.5	1	7.5	1
130	87	火床用平鋼		200 × 90	139	11	9	10	1	10	1
140	15	計	3	380 × 100	57	13	1,363	計	4	計	4
150	96	其他棒鋼		6" × 3"	74	13	1,363	耳付縞中鋼板		耳付縞中鋼板	
160	4	計	43	計	1,764	24	68	4.5mm	17	4.5mm	17
180	8	棒鋼計 12,066		工形鋼		30	30	計	17	計	17
200	14	型鋼の部		mm mm		計	1,966	耳付縞厚鋼板		耳付縞厚鋼板	
計	413	小形等邊山形鋼		100 × 75	75	中鋼板		6mm	36	6mm	36
丸鋼計	7,691	20mm	35	150 × 125	128	20	735	8	8	8	8
中形角鋼		25	256	180 × 100	167	mm		9	85	9	85
		35	30	200 × 100	87	0.75	1	計	129	計	129
		40	171	200 × 150	557	0.8	6	耳付中鋼板		ユニバーサル平鋼	
38mm	252	計	492	300 × 150	540	1	58	4.5mm	113	9mm	7
44	30	中形等邊山形鋼		350 × 150	312	1.2	14	計	113	10	2
50	137	65mm	338	400 × 150	71	1.4	13	耳付厚鋼板		12.5	2
55	4	70	62	450 × 175	576	1.5	26	6mm	160	計	11
65	187	100	255	3" × 3"	54	1.6	894	7	29	計	11
70	6	計	655	20 × 7½	963	1.8	4	8	16	硅素鋼板	
75	170	大形等邊山形鋼		24 × 7½	1,727	1.85	220	9	370	mm	
80	5	130mm	350	計	5,257	2	110	9.5	71	0.35	925
90	73	計	350	乙形鋼		2.337	2	計	113	0.43	55
100	180	等邊山形計 1,497		mm mm mm		2.4	2	硅素鋼板		1.20	2
計	1,044	70 × 50 × 40	20	130 × 70 × 60	10	2.5	24	8	16	2.10	3
大形角鋼		150 × 75 × 65	1	計	31	2.6	2	9	370	計	985
		計	527	乙形鋼		2.9	54	10	35		
120mm	21	大形等邊山形鋼		mm mm mm		薄鋼板		11	33		
130	21	130mm	350	70 × 50 × 40	20	20	735	12	451		
150	23	計	350	130 × 70 × 60	10	中鋼板		13	5		
計	65	等邊山形計 1,497		150 × 75 × 65	1	計	1,966	14	38		
角鋼計	1,109	乙形鋼		計	31	中鋼板		計	4,300		
小形平鋼		乙形鋼		乙形鋼		中鋼板		耳付中鋼板			
16mm	1	乙形鋼		乙形鋼		中鋼板		耳付厚鋼板			

昭和7年9月中當所品種寸法別生産高 (其の二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
鐵力板		軌條の部		45	41	25mm	2	リベット	20	鋼塊	
170 lbs	590	輕軌條		スパイキ	2	3	14	ナット	1	普通鋼塊	100,261
112	71	6K	707	トラツクボ-	1	4	11	計	394	電氣爐塊	1,187
107	12	10	934	ルトナット		45	5			坩堝鋼塊	17
100	626	12	245	計	644	計	34	其他鋼材計	583	鑄造鋼塊	567
95	138	15	314	軌附計	23,449	線釘計	7,125	鋼材計	71,036	計	102,032
90	1	計	2,200	線釘材の部		其他の部		合金鐵		鋼片	
B.W.G.No.		30K	5	線材		銀成品		フエロシ	18	内部向	63,204
33	22	37	7,969	5.5mm	7,061	坩堝鋼	25	リコン		外部向	6,661
31	10	40	11,620	計	7,061	電氣爐鋼	75	計	18	計	69,865
30	984	45	775	製釘材		普通鋼	89	鉄鐵		シートバー	
19	354	50	236	5.5mm	30	計	189	本所	29,691	内部向	9,401
計	2,808	計	20,605	計	30	其他		戸畑	9,634	外部向	10,366
其他鋼板		附屬品		鋼線		外輪	228	洞岡	15,836	計	19,767
飛行機用	26	繼目板	68	1.2mm	1	車軸	127	計	55,161	短尺及屑鋼	
艶付	147	6K用	37	2.3	1	ボールド	18	短尺	627	屑鋼	1,418
汽罐用	3	40	165			ナット		計	2,045		
計	176										
鋼板計	16,684										

昭和7年7月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	36mm	227	3 1/4"	800	平	鋼	48mm	1	計	1,784
6mm	69	38	181	3 1/2"	54	17mm	8	50	266		
8	63	40	40	3 3/4"	303	19	4	55	1		
9	2	42	371	4 1/4"	85	22	2	57	6		
12	4,482	44	439	5	38	23	4	60	34		
14	1	43	79	5 1/2"	61	25	5	62	5		
16	2,897	50	44	二級品	162	26	2	64	5		
17	3	55	43	三級品	232	28	7	65	465		
19	3,628	60	7	計	21,030	30	1	70	13		
22	3,251	65	110	角	鋼	32	6	75	31		
25	2,374	70	6	9mm	9	35	1	92	11		
25.5	2	73	5	16	182	38	410	100	23		
28	374	75	8	25	56	40	2	150	9		
32	548	79	1	44	1	42	79	1 1/2"	109		
34	4	80	4	計	248	44	64	2"	168	棒鋼計	23,062
		83	12					三級品	42		

昭和7年8月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	國 別	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年度 累 計
條及竿鐵	丸、角、平形にして 徑又は幅15mmを 超えざるもの	20	—	220	1	133	23	—	3	—	—	15	413	4,989
〃	(丸、角、平の もの其他)	91	—	829	40	22	—	7	21	—	—	44	1,054	8,359
〃	(テ ア ン グ ル 形 及 其 他)	6	—	22	—	—	—	—	—	—	—	—	28	4,522
〃	(其 他)	—	—	1,808	—	—	—	20	—	—	—	—	1,828	15,014
レ ー ル		—	—	312	—	—	—	—	40	—	—	—	352	4,658
フイッシュ、プレート		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	161
ワイヤ ロツ	(巻きたるものに て徑5mmを 超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
〃	(巻きたる もの其他)	1	—	227	5	—	—	265	209	—	—	—	707	19,901
鐵 板	(金屬を鍍せざるもの に厚0.7mmを超え ざるもの)	48	—	121	—	—	—	—	—	—	—	—	169	1,875
〃	(金屬を鍍せざるもの に厚0.7mmを超え ざるもの其他)	10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10,819
〃	(金屬を鍍せざるもの に厚3mmを超えざ るもの)	31	—	83	20	10	—	9	6	—	—	20	179	3,326
〃	(金屬を鍍せざ るもの其他)	54	42	75	2	—	—	—	1	—	—	—	174	3,434
〃	(錫鍍したるもの (葉鐵及葉鋼) (亞鉛鍍したるもの (其他卑金屬を 鍍したるもの)	1,320	—	2,045	—	—	91	—	224	—	—	—	3,680	49,303
〃		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	442
鐵 線		17	—	6	3	1	8	—	44	—	—	—	79	1,962
リ ー ド ・ ワ イ ヤ ー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
鐵 リ ボ ン		35	—	106	63	—	—	47	1	—	—	117	369	3,884
帶 (箍 鐵)		139	160	838	772	—	61	4	5	—	—	762	2,741	38,716
バラゴン・ワイヤ ー		4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	147
線 索		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	139
撚 合 線		—	—	1	—	—	—	—	8	—	—	—	9	54
パ ー ド ・ ツ ウ イ ス ー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ト ・ ワ イ ヤ ー		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵 筒 及 管		48	93	10	—	—	—	3	211	—	—	2	367	6,849
特 殊 鋼 (稅表一)		40	—	55	—	102	—	12	2	13	—	34	258	1,647
〃 (稅表二)		5	—	9	—	—	—	36	—	—	—	15	65	528
鐵 道 車 輪 及 車 軸		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
鐵 道 車 輪 用 タ イ ヤ ー		—	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	21	166
鐵 道 車 輛 用 グ ラ フ イ ツ ク		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		1,869	295	6,788	906	268	183	403	875	13	—	1,013	12,513	180,998
フ ェ ロ ・ マ ン ガ ニ ー ス		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	195
フ ェ ロ シ ル コ ン 及 シ リ コ ン		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其 他 の 不 可 鍛 鐵 合 金		1	—	1	—	—	—	8	—	—	—	—	10	294
シ ー ト バ ー (テ イ ン バ ー を 含 む)		—	—	594	100	—	—	—	—	—	—	—	694	9,932
イ ン ゴ ツ ト ・ ブ ル ー ム ・ ピ レ ッ ト 及 ス ラ ツ プ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	65	—	65	10,862
ケ ツ グ ス チ ー ル 及 バ ン プ ス チ ー ル		—	—	—	—	—	—	49	—	—	—	—	49	446
其 他 の 塊 及 錠 鐵		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	3
合 計		1	—	595	100	—	—	57	—	—	65	1	819	21,732
銑 屑 及 故 鐵		2,645	—	203	—	—	—	—	—	9,690	—	7,530	17,423	343,187
		—	—	—	2,931	—	5,141	—	13,732	417	5,036	9,263	39,165	268,776

昭和7年9月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

丸 鋼

角 鋼

寸法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計	
	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他		計
6mm	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1
8	—	—	5	—	5	—	—	—	—	5
9	2,278	971	1,662	4,911	—	—	—	2	2	24,913
10	10	—	1	11	—	—	—	—	—	11
12	—	—	—	—	—	—	—	3	3	3
13	5	—	2	7	—	—	—	1	1	8
16	5	—	6	11	—	—	—	1	1	12
19	—	—	5	5	—	—	—	2	2	7
22	5	—	—	5	—	—	—	3	3	8
24	15	—	2	17	—	—	—	—	—	17
25	—	—	3	3	—	—	—	—	—	3
26	4	—	—	4	—	—	—	—	—	4
28	—	1	5	6	—	—	—	1	1	7
30	—	—	—	—	—	—	—	4	4	4
32	9	—	—	9	—	—	—	1	1	10
36	3	—	1	4	—	—	—	—	—	4
37	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1
38	4	—	1	5	—	—	—	—	2	7
40	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1
44	7	1	13	21	—	—	—	—	—	21
45	4	—	1	5	—	—	—	—	—	5
48	—	2	11	13	—	—	—	—	—	13
50	33	—	35	68	—	—	—	7	7	75
55	48	—	15	63	—	—	—	2	2	65
60	13	24	6	43	—	—	—	—	—	43
65	4	25	29	58	—	—	—	—	—	58
70	7	28	3	38	—	—	—	—	—	38
75	12	1	15	28	—	—	—	1	1	29
80	21	—	—	21	—	—	—	—	—	21
90	50	51	198	299	—	—	—	4	4	303
95	24	—	—	24	—	—	—	—	—	24
100	14	—	295	309	—	—	—	2	2	311
115	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1
130	—	—	27	27	—	—	—	—	—	27
140	1	—	2	3	—	—	—	—	—	3
150	6	—	58	64	—	—	—	1	1	65
180	4	—	—	4	—	—	—	—	—	4
200	5	—	—	5	—	—	—	—	—	5

計 2,591 1,104 2,404 6,099 — — 38 38,613

寸法	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				合計	
	區分	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他		計
12mm	9	25	—	34	—	—	—	—	—	34
16	10	—	6	16	—	—	—	—	—	16
19	20	23	19	62	—	—	—	—	—	62
22	12	3	—	15	—	—	—	—	—	15
25	3	2	5	10	—	—	—	—	—	10
28	15	16	5	36	—	—	—	—	—	36
30	—	—	4	4	—	—	—	—	—	4
32	65	18	8	91	—	—	—	—	—	91
38	130	37	13	180	—	—	—	—	—	180
40	—	—	1	1	—	—	—	—	—	1
44	25	36	6	67	—	—	—	—	—	67
50	—	6	14	20	—	—	3	3	3	23
65	—	2	3	5	—	—	1	1	1	6
75	55	19	—	74	—	—	—	—	—	74
80	—	4	1	5	—	—	—	—	—	5
90	—	—	2	2	—	—	4	4	4	6
100	31	1	45	77	—	—	2	2	2	79
120	17	55	10	82	—	—	—	—	—	82
125	—	6	—	6	—	—	—	—	—	6
130	7	17	7	31	—	—	—	—	—	31
150	25	15	15	55	—	—	—	—	—	59
計	424	285	164	873	—	—	14	14	14	887
			平			固				
19mm	35	81	7	123	—	—	—	—	—	123
22	85	61	12	158	—	—	—	—	—	158
25	92	120	16	228	—	—	—	—	—	228
32	—	5	1	6	—	—	—	—	—	6
38	53	30	4	87	—	—	—	—	—	87
44	29	10	—	39	—	—	—	—	—	39
50	14	30	28	72	—	—	—	—	—	72
55	9	10	—	19	—	—	—	—	—	19
60	2	—	27	29	—	—	—	—	—	29
65	18	11	11	40	—	—	—	—	—	40
70	—	—	9	9	—	—	—	—	—	9
75	854	252	49	1,155	—	—	—	—	—	1,155
90	292	39	14	345	—	—	—	—	—	345
100	131	69	2	202	—	—	—	—	—	202
125	—	—	20	20	—	—	—	—	—	20
計	1,614	718	200	2,532	—	—	—	—	—	2,532

總計 4,629 2,107 2,768 9,504 — — 52 529,556